



様々なイベントで地域をあげて「富里スイカ」をPR 「JA富里市」すいかトップセールスが開催!

JA富里市すいかトップセールス

- 期日：5月18日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA富里市
- 内容：JA富里市すいかのPRや試食宣伝会等

■ オール千葉で「富里スイカ」をPR!

千葉県産の大玉すいかの出荷が本格化することから、JA富里市の根本組合長や杉本すいか部長を始め、生産者・JA全農ちば・千葉県等関係者の方々が多数来場し、JA富里市のPRキャラクター「とみちゃん」とともに盛大にトップセールスが開催されました。

「富里スイカ」は昭和8年から栽培が始まりました。昭和11年に大玉すいかを皇室に献上したことから広く名前が知れ渡り、今では大玉すいかの一大産地になっています。富里市では「すいかまつり(6月17日開催:すいかの試食会・すいか重さあて・すいか早食い競争等すいかにまつわる様々なイベントが行われる)」、「第35回富里スイカロードレース(6月24日開催:すいかで水分を補給する給スイカ所の設置や入賞者上位20位に大玉すいか提供等のユニークなマラソン大会)等」のすいかにまつわる多数のイベントが行われ、地域をあげて大玉すいかの魅力をPRしているとのことです。

また、当地域は地域特産物マイスター制度*で、全国唯一のすいか認定者がおり、すいか栽培の技術指導や小・中学生等に対する食育学習等を行い、当地域の産地育成に取り組んでいます。

*平成29年度までに全国から319名、群馬県からはこんにゃく・乾燥芋・漬物等で9名が認定されている。

■ 「富里スイカ」の食味良好!

今年のJA富里市のすいか生育状況は、3月以降の気温上昇から生育は良好で、平年より前進傾向で推移しており、食味は例年以上に良好とのこと。栽培面積は微減傾向ですが、肥大は良好なことから平年以上の出荷を見込んでいます。

当日の試食は、300食のカットすいかが用意されましたが、食味の良さからあっというまに試食は終了しました。また、「スイカのスムージー」や「スイカの皮のかき揚げ」等特徴のある食べ方のレシピと栽培の特徴を記載したリーフレットや「とみちゃん」イラスト入りの団扇が配布され、「富里スイカ」の食味の良さや特徴をPRしました。



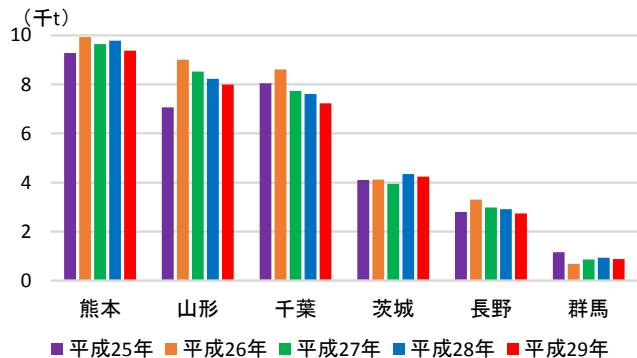
富里スイカの様々な販促グッズ



富里スイカ展示



試食宣伝の様子



都中央すいか類入荷量年別産地別推移 (H25~H29)